

事業所名

ウィルケアみよし

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

20日

法人（事業所）理念		未来につながる子どものために						
支援方針		自己選択・自己決定力を育む。生活スキルを身につける。 「なりたい自分」を見つける。余暇時間を楽しく。						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
		支援内容						
本人支援	健康・生活	○お子様の心身の健康状態の把握・情報共有 受け入れ時や支援中の心身の健康状態の観察を実施します。学校や保護者様とお子様の健康状態についての情報を共有し健康に過ごせる様に支援します。 ○身近自立に向けての支援 食事、排泄、衣類の着脱など生活に必要なスキルアップをめざします。						
	運動・感覚	○室内外での運動や遊びを通して体力の維持・向上をめざします。 ○個別療育等を行い指先の巧緻性を高めます。 ○個々の発達や障がいの特性を踏まえ環境調整などの支援を行います。						
	認知・行動	○個々の特性に配慮した療育内容（色、物、時間、文字、数字、空間認識等）や環境の整備を行います。 ○ソーシャルスキルトレーニングを行い状況に応じた言動や行動が取れる様にトレーニングを行います。 ○事業所で様々な活動に参加し興味の幅を増やし余暇時間を楽しく過ごせる様に支援します。						
	言語 コミュニケーション	○自分の気持ちに気づき自分の気持ちや思いを相手に伝えられたり、相手の気持ちも聞く事で理解し折り合いがつけられ楽しく過ごせる様に支援します。 ○児童の特性にあったコミュニケーション方法で児童の伝えたい気持ちを理解できる様に配慮します。 ○帰りの会などを通して自分の意見をみんなの前で発表し自己表現力を養っていきます。 ○個別療育の中で日記や伝言メモ、インタビューなどで伝えたい内容を的確に伝えられる様に支援します。						
	人間関係 社会性	○小集団での活動を通して協調性や社会性を養います。 ○外出などのイベントで公共のマナーやルールを学びます。 ○ソーシャルスキルトレーニングを積極的に行い他者との関わり方、トラブルがあった時の克服方法、コミュニケーション力など社会生活に必要なスキルを身につけます。						
家族支援		○保護者と連絡帳や送迎時、面談時に情報の共有を行い連携をとっていきます。 ○保護者の子育てや家庭生活での困り事などにも相談に乗り助言等を行い家族支援を行います。			移行支援		○ライフステージの切り替えがスムーズに行える様な支援をします。 ○学校・医療機関・相談支援事業所や他事業所とも情報共有や連携をしながらスムーズに移行ができる様に支援を行います。	
地域支援・地域連携		○児童と関わるすべての関係機関と情報共有をしながら連携をとっていきます。 ○児童が地域の中で生活していくために社会参加をする機会を設け社会生活に必要な学習します。			職員の質の向上		○事業所内研修・外部研修で支援力の向上を目指します。 ○事業所内での事例検討会	
主な行事等		初詣 節分祭 お花見 夏まつり 水遊び 果物狩り クリスマス会 忘年会 外食イベント 買い物実習 物づくり体験 料理イベント おやつ作り 工作 外出 公園等						